

第2学年 体育科「表現リズム遊び」 さあ、いこう！ファンタジーワールド

対 象：第2学年2組31名
授業者：鈴木 勇 志

1 単元名 「さあ、いこう！ファンタジーワールド」

2 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
表現リズム遊びの行い方を知るとともに、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ったり、軽快なリズムの音楽に乗って弾んで踊ったりすることができるようにする。	- 題材の特徴に合った動きを選んだり、見付けたりすることができるようにする。 - リズムの特徴を捉えた動きを選んだり、見付けたりすることができるようにする。 - よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。	- 題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。 - 誰とでも仲よく踊ったり、友達とぶつからないように周りの安全に気を付けたりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 「さあ、いこう！ファンタジーワールド」の行い方について知り、実際に動くことができる。 ② 身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。 ③ 軽快なリズムの音楽に乗って弾んで踊ったり、友達と調子を合わせたりして即興的に踊ることができる。	① 題材の特徴に合った動きを選んだり、工夫したりしている。 ② リズムの特徴を捉えた動きを選んだり、工夫したりしている。 ③ よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。	① 「さあ、いこう！ファンタジーワールド」に進んで取り組もうとしている。 ② 誰とでも仲よく活動しようとしている。 ③ 周りの安全に気を付けて活動している。

4 児童の実態

実践をするにあたって2年生の児童86名に対し実態調査を行った。

体育の学習や運動することに対してはほとんどの児童が「楽しい・好き」と答えた(94.2%)。一方で、音楽やリズムに合わせて踊ることに限定すると、楽しいと感じる割合は減少した(86.1%)。また、40%弱の児童が学校行事を除くとダンスなどを踊る機会がないと答え、さらに、みんなの前で(体育に限らず)何かの発表をすることは、30%強の児童が「嫌い」と答えた。嫌いな理由としては、「恥ずかしいから」「緊張するから」が多く、普段あまりやらないことを人前でやることに、苦手意識があると推察される。

そこで本単元では、約90%の児童が楽しいと答えた集団遊びの要素を取り入れた活動を授業の始めに行って心と体をほぐし、主たる活動へとつなげたい。また、ダンスが楽しい理由として多かった「音楽(曲)が好きだから」に着目し、児童に馴染みがあり好きになれる曲を選ぶことで、自然と体が動くように工夫していく。

5 運動の特性

表現リズム遊びは、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身の動きで表現したり、リズムに乗って踊ったりする楽しさに触れることのできる運動遊びである。また、友達と様々な動きを見付けて動いたり、調子を合わせて踊ったりする楽しさを味わうことのできる運動遊びである。

6 目指す児童像 「運動やスポーツに親しむ子」

具体的な手だて	期待される児童の姿
集団遊びの要素を取り入れた活動 「ほぐしタイム」	遊びを通して楽しみながら活動に取り組んでいる。
教師自身になりきって大きく表現し、 楽しんでいる様子を見せる。	教師の言葉や動きや表情をよく見て、動きを真似して 楽しんでいる。
軽快に弾んで踊れるややテンポの速い曲 の選定	音楽をよく聴いて、曲のリズムに合わせて踊っている。
よい動きの価値付け	友達のよい動きを真似したり、工夫したりしようとして いる。
教師が一番聞きたいことを明確にした 振り返り	活動を振り返り、聞かれたことに対して具体的に表現し ようとしている。

7 単元計画

時		1 (本時)	2	3	4	5
学習活動		【オリエンテーション】 ・学習の進め方を知る。 ① ほぐしタイム ・心と体をほぐす遊びに取り組む。 ② めあての確認をする。 ファンタジーワールドで、リズムに乗ったり、いろいろなものになりきったりして動こう。 ③ ファンタジーワールドで遊ぶ。(全体) ・いろいろな乗り物になって動く。 ④ ゆったりタイム ⑤ 振り返り	① ほぐしタイム ・心と体をほぐす遊びに取り組む ② めあての確認をする。 もっと、本物そっくりになるように、くふうして動こう。 ③ ファンタジーワールドで遊ぶ。(グループ) ・乗り物 ・遊園地のアトラクション ④ ゆったりタイム ⑤ 振り返り			① ほぐしタイム ・心と体をほぐす遊びに取り組む ② めあての確認をする。 ファンタジーショーをひらいて、みんなで楽しもう。 ③ ファンタジーワールドで遊ぶ。(グループ) ④ ファンタジーショー (発表会) ⑤ ゆったりタイム ⑥ 単元の振り返り
	知・技	① 【観察】	②、③ 【観察・ワークシート】			
	思・判・表			①, ② 【観察・ワークシート】	③ 【観察・ワークシート】	
	主体的	① 【ワークシート】	③ 【観察】			② 【観察・ワークシート】
評価の重点						

8 本時（5時間扱いの1時間目）

（1）本時の目標

- ・表現リズム遊びの行い方を知ることができるようにする。（知識及び技能）
- ・題材やリズムの特徴を捉えた動きを真似たり工夫したりすることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）

◎題材になりきって動いたり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組むことができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

（2）本時の展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ◎評価【評価方法】
導入	○ほぐしタイム（準備運動） 心と体をほぐす遊びに取り組む。 焼き芋グーチャーパー 猛獣狩りに行こうよ リズム太鼓に合わせて動く。 ○学習のめあてを確認する。	◇教師と一緒に動き、まねをさせることで表現運動の楽しさを味わわせる。 ◇掲示物を活用しながら、説明する。
	めあて：ファンタジーワールドで、リズムに乗ったり、いろいろなものになりきったりして動こう。	
展開	○全員でファンタジーワールドで遊ぶ。 ・乗り物になってファンタジーワールドへ出発しよう。 ・先生の動きを真似して動く楽しいな。 ○他にもできそうな乗り物を挙げてイメージを膨らませる。 ・自分で決めた乗り物になって動いてみよう。 ○友達の動きを真似して動き、さらにイメージを膨らませる。 ・友達の動きを真似して動くイメージが膨らむよ。 ○ゆったりタイム（整理運動） ・ファンタジーワールドから戻り、心と体をリラックスさせる。	◇軽快なリズムの曲をかけるとともに、実際に動いて示しながら説明する。 ◇はじめは、全員で同じ乗り物になって動く。 ◇題材のイメージが思い浮かぶイラストなどを掲示する。 ◇よい動きをしている児童の踊りを取り上げ紹介する。 ◇だんだんとゆっくりのペースにしていき、心と体をリラックスさせるようにする。 ◎知・技① 行い方を知り、実際に動くことができる。 【観察】
まとめ	○学習の振り返りをする。 ・乗り物になりきって動くのが楽しかった。 ・リズムに合わせて動くのが楽しかった。	◇今日の活動を振り返り、具体的に表現できるようにする。 ・ファンタジーワールドで遊んで、どんなことが楽しかったか振り返るようにする。 ◎主① 表現リズム遊びに進んで取り組もうとしている。 【ワークシート】